

# 山一産業株式会社



## 1. 会社概要

会社名	山一産業株式会社		
所在地	久留米市津福本町字上津留 2305-11（西田工業団地内）		
本社	同上	資本金	1,400 万円
業種	食料品製造業	従業員数	45 人
社風・社のモットー	お客様に喜ばれる仕事を通じて新しい食文化の創造を図り、地域社会にとってそばになくてはならない存在		

## 2. 省エネに関する改修について

改修内容	重油ボイラーから天然ガスボイラーへ変換
導入設備・仕様	天然ガスボイラー 2 基
改修金額	1,450 万円
補助金額	480 万円
(改修費に対する割合)	( $\frac{1}{3}$ )
設備稼働時期	2022 年 12 月
補助金の名称	先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金（経済産業省）
改修検討開始時期	2019 年
設備稼働時期	2022 年
改修の効果 (エネルギー使用量等)	CO <sub>2</sub> 削減：581t-CO <sub>2</sub> から 449t-CO <sub>2</sub> へ（約 23%減）2022 年 / 2021 年比

### 3. 担当者紹介

改修担当者の名前	山本 雅典（代表取締役社長）
勤務年数	40 年目
趣味・モットー等	克己・尽力・楽天

### 4. 改修検討から導入までのストーリー

きっかけ	1. 施設の老朽化 2. カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進するため
苦労した点	設置費用をどう確保するか。お客様に迷惑をかけることなく工事ができるか
相談した行政機関や企業等	ボイラーメーカー、商工会議所
参考にした企業や事例等	同じ工業団地内に先行事例があった
補助金はどうやって見つけた？	ボイラーメーカー、商工会議所の情報や、インターネットでの検索
改修業務で忙しかったですか？	工事行程、スケジュール管理、各業者間の打ち合わせ、調整
業務量増加にはどのように対応しましたか？	現場担当者との事前調整、準備をすること
改修後、周りの反応はありましたか？	煙突からの排気ガスがない。重油の備蓄がゼロになり、発注業務、施設管理が楽になった
他の事業者へのアドバイス	SDGs の取り組みとして、具体的で分かりやすい効果が得られる

### 5. インタビュー

山一産業 株式会社：山本 雅典

インタビュアー：久留米市環境政策課

**市:**山一産業では、補助金を活用した改修として「ボイラーの入れ替え」を実施されているとのことですが、その内容を教えていただけますか？

**山本:**令和4年1月にボイラーの入れ替えが完了し、工場には現在2台の天然ガスボイラーが稼働しています。天然ガスタイプのボイラーにすることで、年間132t-CO<sub>2</sub>の温室効果ガスの排出削減につながっています（2021年比約23%減）。燃料費は、導入後に燃料価格が全体的に高騰したため単純比較はできませんが、導入前と比べてもそれほど変わっていません。

**市:**地球温暖化対策において、ボイラーの入れ替え



山一産業株式会社代表取締役社長・山本 雅典さん

は大きな効果があったことが分かりました。その他の効果は何かありますか？

**山本:**重油を使わなくなったので、備蓄する必要がなくなり、関連設備が不要になりました。また、重



重油ボイラーの時は煙突がもつと長くて目立っていたそうです

油の発注業務や危険物管理に関する点検業務もなくなり、事務の軽減につながったと言えます。さらに、煙突からの排気ガスが無くなり、煙や臭いが減ったことで、スタッフからも喜びの声が上がっています。煙突の高さもすごく低くなりました。

**市：**今回の設備投資では、補助金を活用されたのですか？

**山本：**はい。経済産業省の「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」を使いました。(改修事業費：1,450万円、補助金：480万円)

**市：**投資や補助金活用までのいきさつを教えてください。

**山本：**公害が問題になっていた頃から経営していますので、もともと環境保全と経営の両立については課題意識を持っています。ボイラーが老朽化し、交換のタイミングが来たことで、その対応をどうするか、環境配慮やコストなどについて約2年間かけて検討しました。

検討の中で、ボイラーのメーカーから補助金活用の提案がありました。商工会議所やガス事業者、同タイプのボイラーをすでに導入している企業への聞き取りを行ったうえで、今回の投資を決断しました。

**市：**今回の改修の結果、工場のエネルギー使用量などに変化はありましたか？

**山本：**はい。重油がゼロになったので、現在は電気と天然ガスの2種類で、使用割合は半々となって

います。また、電気使用量の削減へのアプローチとして、工場の全ての照明をLED化しました。LEDにする前は、大きな水銀灯の照明で、明るくなるのに時間がとてもかかっていたのですが、今はすぐに明るくなるので非常に助かります。

**市：**今回の改修で、苦労したことや工夫したことはありますか？

**山本：**改修費用をどう確保するか、そして取引先のお客様にご迷惑をかけずに工事ができるのかがとても悩ましかったです。うちの商品は作って蓄えておくことができず、工場を止めることが非常に経営的に問題になるので。

その対応として、補助金の活用や、ボイラーを2台同時に入れ替えるのではなく、1台ずつ順番に入れ替えることで、なんとか対応することができました。

ボイラーは1台大きいものを導入した方が価格的には安くなるのですが、工場の稼働をなるべく止めないこと、それと故障のリスク回避を考え、2台にしました。

**市：**ボイラー入替という大きな仕事加わったことで、大変なこともあったのでは？

**山本：**そうですね、大きな投資だったので、検討から決断までは会社のトップを含めた体制で協議を行いました。その後の手続きは各担当部署で行いました。

担当者が大変だったのは、工事の行程やスケジュール管理、各業者間の調整だったようです。補助金の申請などは、設備メーカーがかなり手伝ってくれたのでそこまで負担ではなかったです。



各部署が連携して環境配慮型の経営を進めていることが分かりました



**市：**省エネに関する改修を検討されている事業者さんへのアドバイスがあればお願いします。

**山本：**省エネに関する改修は、SDGsの取り組みとして具体的で分かりやすい効果が得られるものだと思います。

**市：**山一産業様は2022年にSDGs宣言をされました。最近、環境配慮に取り組んでいるかどうか、取引先や就職先として選ばれるかどうかの条件になってきているとも聞いていますが、いかがでしょうか？

**山本：**そうですね。業界を通じて、脱炭素化のプレッシャーを感じていて、それは年々強まっています。今後、企業価値を高める上で、SDGsや脱炭素は重要な視点になると考えています。取り組みの一つとして、生産工程で排出される食品残渣を堆肥化しています。

**市：**食品ロス削減につながる良い取り組みですね。ちなみに私は、あんこは「こしあん」派です。山一産業様では「こしあん」と「つぶあん」のどちらの商品が多いですか？

**山本：**生産の約7割が「こしあん」です。今は洋菓子にもあんこが使われることが多いのですが、「こしあん」の方が加工しやすいんですよ。よかったら、作ってるところをお見せしましょうか？



※この後、ご丁寧に工場の中まで案内していただきました♪



生産工程で排出された食品残渣を堆肥化している様子



2022年に設置した天然ガスボイラー